

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2025年 第16週（4月14日～4月20日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし		
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2人	類型 患者 2人 血清型 不明 2人
四類感染症	チクングニア熱	1人	推定感染地域 国外
	デング熱	1人	推定感染地域 国外
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1人	血清群 A群
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2人	
	侵襲性肺炎球菌感染症	3人	
	梅毒	13人	病型 早期顕症Ⅰ期 6人、 早期顕症Ⅱ期 3人、 無症状病原体保有者 4人
	百日咳	73人	年齢階級 0歳 3人、2歳 1人、 6歳 1人、7歳 1人、 8歳 4人、9歳 2人、 10歳代 27人、20歳代 3人、 30歳代 3人、40歳代 17人、 50歳代 6人、60歳代 3人、 70歳代 2人

〈百日咳の患者情報〉

百日咳の報告数（28人→73人）は、前週と比較して大きく増加し、1週間の報告数としては、百日咳が全数把握対象疾患に指定された2018年以降最多となった。年齢階級別では、2018年から2019年の流行時は5～9歳の報告が最も多くなっていたのに対し、2024年以降は10～14歳の報告が最も多くなっている（図1）。なお、2021年6月以降、百日咳の診断、届出に利用可能な新たな検査方法が追加されている。

（参考）埼玉県感染症対策課 百日咳について（URL：<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0710/kansen/5rui/hyakunichizeki-kantai.html>）

〈定点把握疾患の患者情報〉

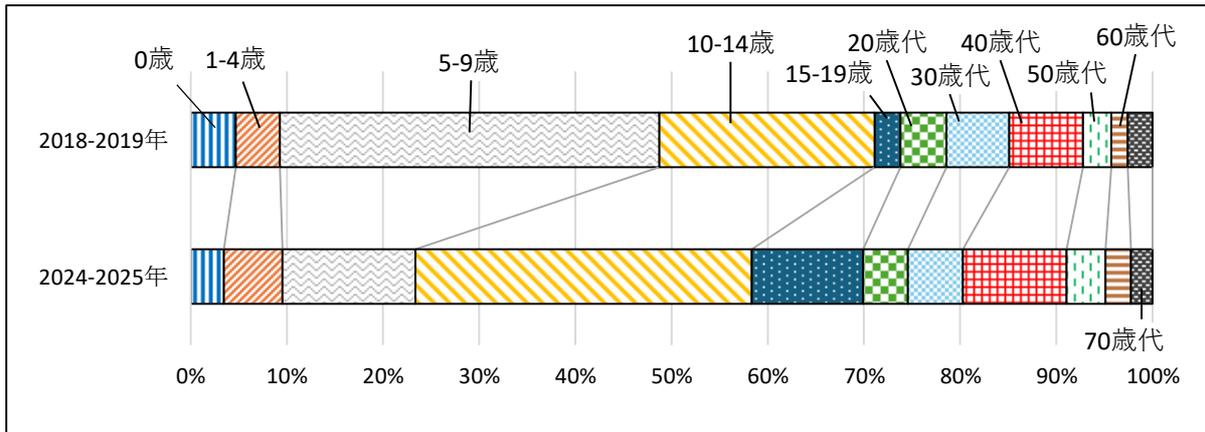
新型コロナウイルス感染症（2.66*→2.41:図2）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であった。基幹定点における**入院患者**の報告は26人（前週21人）であった。**急性呼吸器感染症**の定点当たり報告数は、68.80（前週65.49*）であった。**伝染性紅斑**（1.82→1.96:図3）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加し、やや高い水準にある。保健所別では、本庄（3.00→6.00）、狭山（1.80→3.00）、草加（1.00→2.14）保健所管内で大きく増加した。**感染性胃腸炎**（7.79→8.85:図4）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（2.75→3.55:図5）の定点当たり報告数は前週と比較して増加した。保健所別では、幸手（3.80→7.60）保健所管内で大きく増加した。**水痘**（0.95→0.86:図6）の定点当たり報告数は、前週と比較して同水準であったものの、保健所別では、坂戸（0.00→4.33）、本庄（0.33→2.67）保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では、7～9歳の報告が多く、全体の約59%であった。眼科定点報告疾患では、**急性出血性結膜炎**9人、**流行性角結膜炎**34人の報告があった。基幹定点報告疾患では、**細菌性髄膜炎**1人、**マイコプラズマ肺炎**4人、**クラミジア肺炎**1人、**インフルエンザ（入院）**3人の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

<注目すべき疾患（百日咳）>

図1 百日咳の診断時年齢階級別割合の遷移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

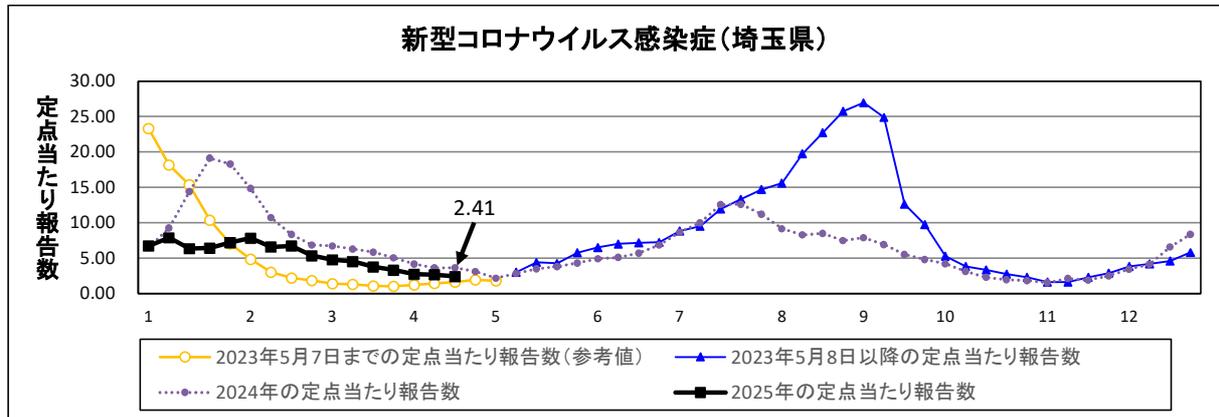
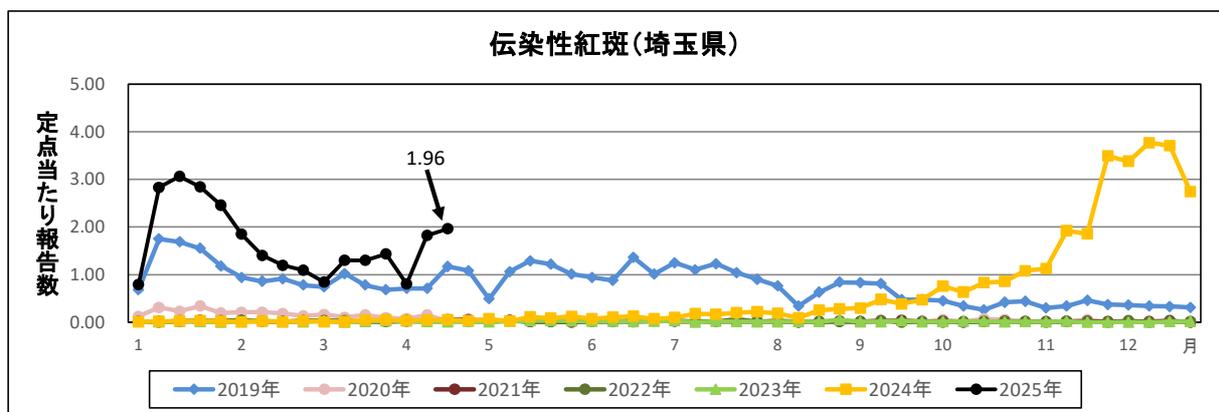


図3 伝染性紅斑の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第16週)

(2025年4月22日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢			パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	2	21			
四類感染症					
E型肝炎		8	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		3	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱	1	1	レジオネラ症		22
つつが虫病		1	レプトスピラ症		
デング熱	1	1	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		3	侵襲性肺炎球菌感染症	3	64
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	水痘(入院例に限る)		4
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		33	先天性風しん症候群		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			梅毒	13	138
急性脳炎		12	播種性クリプトコックス症		2
クリプトスポリジウム症		1	破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		3	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	22	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2
後天性免疫不全症候群		15	百日咳	73	323
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	10	麻しん		5
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		

累計は診断日で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2025年3月分)

2025年3月の届出総数は、患者34人、無症状病原体保有者21人の計55人であった。前月と比べると患者数は増加し、無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比べると、患者数、無症状病原体保有者数ともに同水準であった。推定感染地域は国内32人、国外5人、不明18人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2024年3月~2025年3月)

	2024年*											2025年			
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計**	
総計	55	54	51	61	61	48	59	64	58	76	64	51	55	170	
年齢階級															
10歳未満	1	2	2	1	0	0	1	1	1	1	2	4	2	8	
10歳代	0	1	1	0	0	0	0	2	0	2	0	1	0	1	
20歳代	8	7	6	3	13	6	6	4	4	11	7	5	7	19	
30歳代	1	3	2	6	2	5	4	6	0	6	5	2	3	10	
40歳代	6	5	4	5	3	2	0	6	5	4	1	5	8	14	
50歳代	5	6	5	8	9	6	8	9	9	7	13	6	3	22	
60歳代	3	3	7	9	5	9	8	7	4	9	6	7	7	20	
70歳代	12	11	9	10	14	9	17	7	12	10	13	8	10	31	
80歳代	15	10	12	13	12	7	9	17	18	17	8	12	10	30	
90歳以上	4	6	3	6	3	4	6	5	5	9	9	1	5	15	
性															
男	30	28	27	37	43	29	39	36	32	44	43	30	32	105	
女	25	26	24	24	18	19	20	28	26	32	21	21	23	65	
類型															
患者	36	37	40	43	37	33	37	40	35	43	33	29	34	96	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
無症状病原体保有者	19	17	11	18	24	15	22	23	23	33	30	22	21	73	
病型															
肺結核	20	22	24	32	24	17	26	29	24	30	22	22	25	69	
肺結核及びその他の結核	3	5	4	1	6	5	4	4	3	5	4	3	3	10	
その他の結核	13	10	12	10	7	11	7	7	8	8	7	4	6	17	
疑似症患者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
無症状病原体保有者	19	17	11	18	24	15	22	23	23	33	30	22	21	73	
推定感染地域															
国内	25	34	29	35	31	25	28	38	40	50	38	28	32	98	
国外	4	6	6	9	9	2	3	3	4	6	10	4	5	19	
不明	26	14	16	17	21	21	28	23	14	20	16	19	18	53	

*: 2024年の届出数は暫定値

** : 2025年1月からの累積届出数

3月に診断された55人を病型別にみると、肺結核は20歳代以上の年齢階級から計25人の報告があり、60歳代以上が15人で60%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2025年3月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	25	3	6	0	21	55
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	0	0	0	0	0	0
20歳代	3	2	0	0	2	7
30歳代	3	0	0	0	0	3
40歳代	4	0	1	0	3	8
50歳代	0	0	1	0	2	3
60歳代	1	0	1	0	5	7
70歳代	5	0	1	0	4	10
80歳代	6	1	0	0	3	10
90歳以上	3	0	2	0	0	5

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2025年第16週

4月14日~4月20日)

保健所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	急性呼吸器感染症	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症																				
全 県	報告数 227 定点当たり 1.30	422 2.41	11,628 68.80	74 0.67	32 0.29	390 3.55	973 8.85	95 0.86	11 0.10	216 1.96	51 0.46	2 0.02	10 0.09	9 0.21	34 0.79	1 0.08	-	4 0.33	1 0.08	-	-	3 0.25	26 2.17
朝 霞	報告数 23 定点当たり 1.44	86 5.38	687 52.85	10 1.00	1 0.10	47 4.70	71 7.10	10 1.00	3 0.30	14 1.40	6 0.60	1 0.10	-	-	4 0.80	1 1.00	-	-	-	-	-	1 1.00	4 4.00
鴻 巣	報告数 19 定点当たり 1.58	44 3.67	1,594 132.83	5 0.71	5 0.71	30 4.29	48 6.86	1 0.14	2 0.29	20 2.86	3 0.43	-	-	-	6 2.00	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *
東 松 山	報告数 1 定点当たり 0.25	7 1.75	108 27.00	1 0.33	-	3 1.00	58 19.33	-	1 0.33	6 2.00	1 0.33	-	1 0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 2.00
秩 父	報告数 - 定点当たり -	2 0.50	61 15.25	-	-	5 1.67	4 1.33	1 0.33	1 0.33	-	-	-	-	-	* *	* *	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 5 定点当たり 1.25	5 1.25	169 42.25	-	-	1 0.33	2 0.67	8 2.67	-	18 6.00	1 0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 1.00
熊 谷	報告数 4 定点当たり 0.44	17 1.89	507 56.33	1 0.20	-	4 0.80	45 9.00	4 0.80	-	21 4.20	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 2.00
加 須	報告数 4 定点当たり 0.80	10 2.00	41 10.25	3 1.00	-	1 0.33	-	-	-	2 0.67	-	-	1 0.33	-	2 2.00	-	-	2 2.00	-	-	-	-	2 2.00
春 日 部	報告数 23 定点当たり 3.83	15 2.50	167 33.40	5 1.67	5 1.67	20 6.67	54 18.00	-	1 0.33	12 4.00	3 1.00	-	-	-	-	-	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *
幸 手	報告数 30 定点当たり 3.33	34 3.78	1,143 127.00	8 1.60	3 0.60	38 7.60	51 10.20	2 0.40	1 0.20	13 2.60	-	1 0.20	-	-	-	-	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *
坂 戸	報告数 13 定点当たり 3.25	10 2.50	398 99.50	-	-	3 1.00	60 20.00	13 4.33	-	8 2.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 2.00
草 加	報告数 8 定点当たり 0.73	19 1.73	599 54.45	4 0.57	1 0.14	14 2.00	53 7.57	10 1.43	-	15 2.14	5 0.71	-	2 0.29	-	-	-	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *
狭 山	報告数 29 定点当たり 2.42	42 3.50	589 49.08	3 0.33	1 0.11	47 5.22	61 6.78	8 0.89	-	27 3.00	7 0.78	-	-	-	9 1.80	4 0.80	-	-	1 1.00	-	-	-	5 5.00
南 部	報告数 5 定点当たり 1.00	13 2.60	142 35.50	5 1.67	-	27 9.00	34 11.33	3 1.00	2 0.67	5 1.67	4 1.33	-	-	-	1 1.00	-	-	-	-	-	-	-	3 3.00
川 越 市	報告数 4 定点当たり 0.44	12 1.33	679 75.44	1 0.20	1 0.20	25 5.00	36 7.20	3 0.60	-	10 2.00	2 0.40	-	1 0.20	-	2 1.00	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *	* *
越 谷 市	報告数 13 定点当たり 1.63	15 1.88	856 107.00	1 0.20	-	8 1.60	42 8.40	4 0.80	-	13 2.60	1 0.20	-	-	-	-	-	-	-	1 1.00	1 1.00	-	-	-
川 口 市	報告数 14 定点当たり 1.00	33 2.36	936 66.86	7 0.88	1 0.13	30 3.75	71 8.88	8 1.00	-	8 1.00	3 0.38	-	1 0.13	-	4 1.00	-	-	-	-	-	-	-	1 1.00
さいたま市	報告数 32 定点当たり 0.74	58 1.35	2,952 68.65	20 0.71	14 0.50	87 3.11	283 10.11	20 0.71	-	24 0.86	14 0.50	-	4 0.14	-	11 1.22	-	-	-	-	-	-	-	5 5.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

4月 22日 14:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)	報告患者数		年齢別																		
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	227	2	4	12	6	11	9	13	24	5	3	8	40	31	18	17	12	8	2	2	-
新型コロナウイルス感染症	422	5	11	18	10	13	1	4	4	4	5	3	23	22	47	43	49	52	32	35	41
急性呼吸器感染症	11,628	992	4,761	2,261	929	328	442	484	379	352	261	249	190								
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~								
RSウイルス感染症	74	10	13	31	14	3	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	32	1	2	6	6	6	5	1	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	390	1	1	5	18	23	40	46	50	61	32	37	64	2	10						
感染性胃腸炎	973	9	57	99	83	85	93	87	78	79	60	48	137	16	42						
水痘	95	1	2	2	1	2	5	1	8	16	20	20	14	3	-						
手足口病	11	-	2	4	2	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-						
伝染性紅斑	216	-	3	10	17	18	35	41	26	24	20	11	11	-	-						
突発性発しん	51	-	7	31	7	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	10	-	-	-	-	-	3	1	1	-	1	2	2	-	-						
急性出血性結膜炎	9	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	1	-	1	-	1	1	
流行性角結膜炎	34	-	-	-	1	-	-	1	1	1	-	-	1	2	5	6	5	10	-	1	
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	4	-	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
インフルエンザ(入院)	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1			
新型コロナウイルス感染症(入院)	26	2	1	2	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	3	2	13				

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第14週 (3月31日～4月6日)

令和7年4月23日

<全国情報>

インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:インフルエンザの定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は秋田県(3.79)、岩手県(2.87)、沖縄県(2.70)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は118例と前週と比較して減少した。都道府県別では32都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～9歳(23例)、10代(7例)、20代(2例)、30代(3例)、40代(4例)、50代(10例)、60代(9例)、70代(20例)、80歳以上(39例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(4.38)、山形県(4.08)、長野県(3.89)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は1,118例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(22例)、1～9歳(21例)、10代(2例)、20代(11例)、30代(24例)、40代(23例)、50代(46例)、60代(105例)、70代(299例)、80歳以上(565例)であった。

小児科定点報告疾患(主なもの):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.02)、山口県(1.98)、宮崎県(1.81)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は愛媛県(0.77)、鹿児島県(0.68)、福井県(0.52)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は富山県(3.97)、茨城県(3.52)、大分県(3.22)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第11週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(13.53)、宮崎県(13.19)、香川県(12.82)である。手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は青森県(0.32)、山形県(0.20)、三重県(0.16)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福島県(2.17)、富山県(1.90)、北海道(1.85)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位2位は富山県(0.07)、長崎県(0.05)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(0.12)、沖縄県(0.09)、高知県(0.08)である。

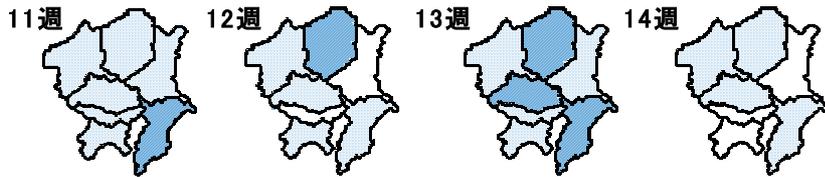
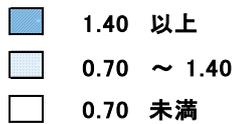
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.00)、青森県(0.67)、群馬県(0.67)、石川県(0.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。32都道府県から86例報告があり、年齢群別では0歳(5例)、1～4歳(24例)、5～9歳(44例)、10代(12例)、70歳以上(1例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第14週(3月31日～4月6日):通巻第27巻 第14号 より

<関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、群馬県(1.10)、千葉県(0.94)、栃木県(0.94)、埼玉県(0.80)で全国平均(0.63)を上回った。

伝染性紅斑



2025年 14週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 5,667 定点当たり 1.20	1,518 1.12	75 0.63	83 1.09	127 1.51	236 1.36	219 1.10	495 1.18	283 1.02
新型コロナウイルス感染症	報告数 10,132 定点当たり 2.14	2,771 2.05	380 3.17	212 2.79	261 3.11	467 2.68	455 2.29	539 1.29	457 1.64
RSウイルス感染症	報告数 2,404 定点当たり 0.80	329 0.39	31 0.41	32 0.67	14 0.27	58 0.52	51 0.41	80 0.30	63 0.36
咽頭結膜熱	報告数 750 定点当たり 0.25	139 0.16	18 0.24	9 0.19	10 0.19	31 0.28	15 0.12	35 0.13	21 0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 5,148 定点当たり 1.71	1,836 2.17	264 3.52	109 2.27	43 0.83	247 2.23	314 2.53	640 2.42	219 1.26
感染性胃腸炎	報告数 19,251 定点当たり 6.41	5,172 6.10	366 4.88	256 5.33	394 7.58	762 6.86	781 6.30	1,659 6.28	954 5.48
水痘	報告数 815 定点当たり 0.27	356 0.42	20 0.27	5 0.10	27 0.52	47 0.42	53 0.43	121 0.46	83 0.48
手足口病	報告数 115 定点当たり 0.04	31 0.04	1 0.01	-	-	3 0.03	4 0.03	12 0.05	11 0.06
伝染性紅斑	報告数 1,889 定点当たり 0.63	541 0.64	41 0.55	45 0.94	57 1.10	89 0.80	117 0.94	108 0.41	84 0.48
突発性発しん	報告数 648 定点当たり 0.22	198 0.23	7 0.09	15 0.31	19 0.37	35 0.32	29 0.23	58 0.22	35 0.20
ヘルパンギーナ	報告数 27 定点当たり 0.01	7 0.01	2 0.03	-	-	2 0.02	1 0.01	2 0.01	-
流行性耳下腺炎	報告数 102 定点当たり 0.03	41 0.05	1 0.01	-	3 0.06	13 0.12	6 0.05	12 0.05	6 0.03
急性出血性結膜炎	報告数 33 定点当たり 0.05	15 0.07	-	-	-	12 0.28	-	-	3 0.06
流行性角結膜炎	報告数 537 定点当たり 0.77	208 0.99	65 3.82	16 1.33	8 0.57	26 0.60	27 0.77	14 0.36	52 1.04
細菌性髄膜炎 #2	報告数 10 定点当たり 0.02	4 0.05	1 0.08	-	-	-	-	2 0.08	1 0.09
無菌性髄膜炎	報告数 6 定点当たり 0.01	2 0.02	-	-	-	-	1 0.11	-	1 0.09
マイコプラズマ肺炎	報告数 107 定点当たり 0.22	20 0.23	1 0.08	1 0.14	6 0.67	5 0.42	3 0.33	1 0.04	3 0.27
クラミジア肺炎 #3	報告数 1 定点当たり 0.00	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	報告数 86 定点当たり 0.18	17 0.20	-	1 0.14	2 0.22	1 0.08	3 0.33	6 0.24	4 0.36

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

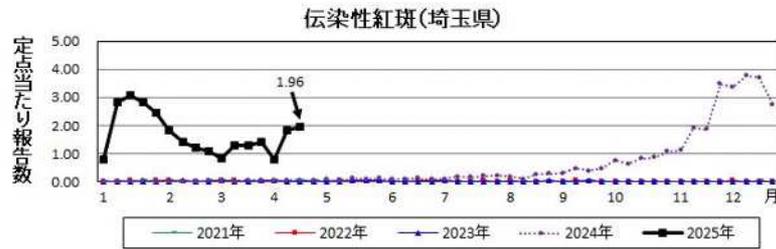
- 感染症発生動向調査 2025年**
- ▶ [感染症の流行状況 2025年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第12週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第13週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第14週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2025年 第15週](#)

感染症の流行状況 2025年 第16週

2025年第16週（4月14日～4月20日）の要点

[伝染性紅斑](#)の定点当たり報告数は1.96で、前週と比較してわずかに増加し、やや高い水準にあります。

外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★★	手足口病	→	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	↑	★★★
RSウイルス感染症	→	★★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
感染性胃腸炎	↑	★★	急性出血性結膜炎	→	★★
水痘（みずぼうそう）	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数に変更となりました。

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。

